

豊川小だより

5月号

ホームページ
QRコード



令和8年 5月1日
北区立豊川小学校
校長 中村 順子

【おもいやる子 かんがえる子 げんきな子】

「おかげ」(感謝の心)

校長 中村 順子

豊川小には、校門を入ってすぐ左手の一角に藤棚があります。数年前には30cmを超える花房が垂れ、近隣の方が写真を撮るために訪れていたと聞いたことがあります。現在はそこまでではないものの、今年も花の季節を迎え、本校の周年キャラクターの「さくすカラー」ともいえる紫色の花が咲き始めました。リノベーション工事の設計の際には、建築士さんが藤の花の美しさに感動し、工事に伴う伐採予定を急遽取りやめたほどの藤棚です。桜に続き、間もなく満開を迎えることでしょう。豊川小の自慢の一つです。

＊

最近、豊川小に寄せていただいたうれしい話が二つあります。

近隣の町会の方が街の掲示板の仕事をされていたところに私が通りかかると、「校長先生ですよね？」と声を掛けられました。そこで伺ったのは

「家の近所を掃除していたところ、下校中の豊川小の子供さんたちが『お掃除、ありがとうございます！』と言ってくれたんです。感動しました！」

というお話でした。

もう一つは先月にいただいた近隣にお住まいの方からのお電話です。

「朝、病院に行こうと自転車で急いでいたら、交差点で豊川小の登校班の列と鉢合わせになりました。すると大勢の下学年の子たちを連れて登校していた班長さんが私に『どうぞお先に』と笑顔で会釈し、道を譲ってくれたんです。私は感激し、涙が出ました。」

とおっしゃっていました。さらに、

「豊川小の子供たちはいい子に育っていますね。」

とも付け加えてくださいました。



＊

昨年度に創立150周年を迎えた豊川小は、長きにわたり地域と共に歩みを進めてきました。そのため、地域の方々の中には「私たちの学校」と愛着をもってくださっている方が多くいらっしゃいます。それも豊川小ならではの「自慢」の一つです。地域の方々が見守り、学校を愛してくださる方々に囲まれている幸せを、様々な場面で感じていますが、今回のように子供たちの素敵なところを直接お伝えいただけたことも、何よりうれしく思います。

豊川小では、

【おもいやる子 かんがえる子 げんきな子】そして頭文字をとって「おかげ…感謝の心の育成」を教育目標として掲げています。

今回お伝えした二つの話は、教育目標に掲げた理念が日々の活動を通して、子供たちに少しずつ浸透していることの表れであると感じています。今後も、地域、そして保護者の方々と手を携えながら、「お・か・げ」、そして感謝の心をもつことができる児童の育成を、一步一步進めてまいります。

＊

今月末には運動会を控えています。リノベーション工事中のため、今年度も昨年度に引き続き、隣接する明桜中学校の校庭での開催となります。山根校長先生、体育科の先生方のお力をお借りしながら、子供たちの成長を参観の皆様にお見せできるよう、準備を進めてまいります。保護者、地域の皆様を始めとする関係の皆様方には、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。